

人、動物、地域に向き合う
多頭飼育対策ガイドライン
～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～

環境省

目次

はじめに	1
ガイドライン策定の背景と目的.....	1
人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン（概要）	2
第1章 多頭飼育問題とはどのような問題か.....	5
1. 多頭飼育問題とは—多頭飼育がもたらす3つの影響.....	5
(1) 飼い主の生活状況の悪化.....	5
(2) 動物の状態の悪化.....	5
(3) 周辺的生活環境の悪化.....	6
2. 本ガイドラインの位置づけ—3つの影響と対策の3つの観点.....	6
(1) 飼い主の生活支援.....	7
(2) 動物の飼育状況の改善.....	7
(3) 周辺的生活環境の改善.....	7
3. わが国における多頭飼育問題の現状.....	8
(1) 多頭飼育に係る苦情の状況.....	8
(2) 解決を困難にしている要因・課題等.....	10
【コラム 1】海外におけるアニマルホーダーについて.....	14
4. 多頭飼育問題が生じる社会的背景—生活困窮と悪循環のおそれ.....	16
5. 発生構造—行われぬ繁殖制限.....	16
(1) 動物の高い繁殖能力—不妊去勢は必須.....	18
【コラム 2】動物の繁殖生態.....	18
(2) 飼い主側の要因—経済的困窮や適切な判断力の欠如.....	21
第2章 多頭飼育問題への対応.....	23
1. 官民を超えた多様な主体・関係者による連携の重要性—連携なくして解決なし.....	23
(1) 連携主体とその役割.....	23
(2) 地域住民等による協力.....	39
(3) 専門家による協力と助言.....	41
(4) 動物愛護ボランティアの協力.....	41
2. 関係法令.....	43
3. 多頭飼育問題への対応—関係者が協力して問題を解決しましょう	52
(1) 多頭飼育問題への対応の流れ.....	52
(2) 予防.....	53
(3) 発見.....	54
【コラム 3】条例に基づく多頭飼育の届出.....	55
(4) 発見後対応.....	58
【コラム 4】対応者のバーンアウト対策.....	61
【コラム 5】ごみ屋敷条例により多頭飼育問題の解決を図る事例：京都市.....	69
(5) 再発防止.....	70
4. 対策に当たっての留意事項.....	71
(1) 個人情報の取扱い.....	71
【コラム 6】他の法令等の定めによる個人情報の取扱い.....	73
(2) 立入検査の体制.....	75

(3) 動物由来感染症の予防.....	76
【コラム 7】動物の感染症.....	76
(4) 飼い主とのコミュニケーションポイント.....	79
(5) 動物の引取り・譲渡に係る所有権放棄.....	81
(6) 動物取扱業者への対応について.....	81
5. 各種チェックシート・記録票等.....	83
第3章 事例紹介.....	92
1. 予防・発見に関する取組事例.....	92
(1) 滋賀県・甲賀市.....	92
(2) 長野県.....	97
(3) 川崎市.....	98
2. 多様な主体との連携により事態が収束した事例.....	102
(1) 多機関連携による見守り—長期にわたる犬の多頭飼育問題事例.....	102
(2) 不良な生活環境と動物由来感染症—高齢者による犬の多頭飼育問題事例...	105
(3) 社会福祉協議会と保健所の協力—高齢者単身世帯の猫の多頭飼育問題事例	108
(4) 支援を受け入れない飼い主—猫の多頭飼育問題事例.....	111
(5) 見守りの重要性—認知症患者による犬猫の多頭飼育問題事例.....	113
(6) 共感と連携—障害者による犬の多頭飼育問題事例.....	116
(7) 強制退去—県営住宅における猫の多頭飼育問題事例.....	119
(8) 早期解決—市営住宅における猫の多頭飼育問題事例.....	121
参考文献.....	123
リスト.....	123
動物の愛護及び管理に関する法律（抜粋）.....	125